

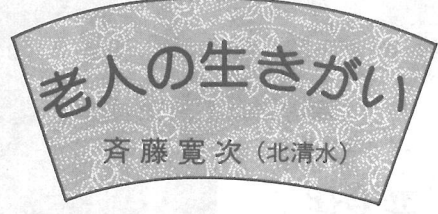
私のひとこと



高齢化社会を迎えて、老人の福祉対策は国の重要施策として推進され、連年改善されつつありますが、愛される老人になるためには老人も日常生活上反省自戒すべき点があると思います。老人にとって健康ほど大切なものはありません。衛生を守り病気をしないことが、長命の秘訣でしょう。

⑪ 広報よこしば

戦後、民主主義の世となり、どここの家庭でも老若の対立が目立ってきました。明治と昭和が互譲の精神で一家を守り、円満



現代は老人が長命となり、丈夫な者はクラブ活動等を活発に行い、友人も増え、乗物等を利用する機会も多く、小遣いがかさみます。また服装や身の廻り品の経費も相当かかって、いただく年金もよほど上手に使わないと赤字になってしまいます。

味を持って、優雅な余生を送ることが、老人の生きがいではないでしょうか。



見台と流儀の扇子謡初  
土屋 栗水  
成田 様子  
初電話晴着の彩のさながらに  
宇井 芝童  
靦少し水漬く揚舟冬の河岸  
若梅あやめ  
冬の川橋脚あらは泥の跡  
津田 若菜

職業の第一線から退いた老人には余暇がある筈です。この余暇を最大限に生かして趣味を持ちましょう。職業意識と欲から少し離れて、自分の好きな道に打ち込むことができたなら、こんな楽しいことはないと思えます。

腹見せて鴨鳴き渡る冬の川  
向後 雅子  
幼子の受話器取り合ひ初電話  
海保 きみ  
冬河の曲りしままに抗あらは  
鈴木 草庵  
幾代を語り継ぎしや炉端の火  
鈴木 南知  
風去りて日の暮れ早き冬の川

目覚める限りやむなき耳鳴りを  
聾者となりし友は言ひたり  
齊藤 寛次  
初月給仏壇に上げて孫ひろみ我にも少し小遣いくれぬ  
北田 ふじ  
箱根路に嫁ぐ日近き娘とくれば紫深くりんどうは咲く  
吉岡 信子  
火の玉となりて地平に沈みくが夕日はなをも沙漠に燃える  
藤代 ゆう

五年を無為に添ひきて  
萩原 信一  
紅葉が覆ひつくせる溪谷をせせらぐ音す流れみえねど  
古谷美江子  
墓石につかまり歩む足弱の吾を導く末の男の子は  
掛川 友代  
芋堀る手休めるほどの鳥の啼きふりむけば空にうれ柿たわわ  
秋葉 とく  
宿房に吾等もてなす学僧もやがて一寺を導くならむ

横芝の碑 132  
身代わりの祠  
大杉大明神(上)

新島本郷の二所神社の境内には、すでにご紹介した乃木將軍揮こうの記念碑や、六体並んだ庚申様の他に、「大杉様」という石の祠が神社の森の中に建っていて、古老の中にはこの祠を「身代わり明神」と呼んでいる人があります。

ある古老は次のように話してくれました。「いつの頃か、この辺り一帯が大暴風に襲われ、付近の村々の人家農作物は大被害を受けました。ところが、この里だけはほとんど被害がなく、ただ大杉様の祠がバラバラに壊れていただけでした。その時は「風向きがよかったのだ」くらいにしか考えず、祠も破片を寄せ集め、元の形にして建て直しておいたままだったのです。



そのうちに誰言うともなく「石の祠があんなにバラバラになる訳がない。きっと身代わりになってくださったのだ」という噂がたち始めました。○写真は後に建っているのが噂の祠です。その説明、その他についての詳細は、次号でお知らせいたします。

町文化財審議会委員  
小沢春光さん寄稿